

レジリエント部門

世界に発信！「仙台下水道防災宣言」

仙台市

東日本大震災を通じて
仙台市が得た
経験や教訓

- ・耐震化による
ハード対策の効果
- ・BCPや他都市支援といっ
たソフト対策の有効性
- ・電力・燃料不足への対応



仙台下水道防災宣言

世界に
発信

- ① 災害に対するハード対策の重要性に関する宣言
- ② 災害に対するソフト対策の重要性に関する宣言
- ③ 短期～中期における施設復旧の重要性に関する宣言
- ④ 長期における施設復旧の重要性及び
下水道のあり方に関する宣言
- ⑤ 情報共有・国際協力の重要性に関する宣言

仙台下水道防災宣言の発信



海外からの災害事例発表



PR ポイント！

耐震化によるハード対策の効果、BCP や他都市支援といったソフト対策の有効性、電力・燃料不足への対応など、東日本大震災を通じて本市が得た経験や教訓を国内外の下水道関係者で共有するとともに、今後の防災・減災対策に役立ててもらうことを目的に「2015 下水道防災シンポジウム in 仙台」を開催し、「仙台下水道防災宣言」を世界に向けて発信しました。この宣言は、国連防災世界会議本体で採択された「仙台防災枠組 2015-2030」や会議で安倍首相が表明した Build Back Better の考え方にも合致しており、国内外の下水道関係者にとって大いに参考になるよう取りまとめました。

Key Person



東北大学 教授
大村 達夫

「2015 下水道防災シンポジウム in 仙台」では基調講演のほか、パネルディスカッションと仙台宣言取りまとめにおけるコーディネーターを務めました。活発な議論を通じて明らかになった多くの貴重な経験を、いかに「宣言」として取りまとめるかに苦心しました。

5項目に集約された宣言では、ハード・ソフトのみならず、震災直後の施設復旧や持続可能な下水道事業のあり方についても盛り込まれており、下水道が災害に強い社会の体制づくりに貢献できる内容となっています。

仙台市の方々との1年に及ぶ準備が、このように結実したことをうれしく思います。